

**令和 6 年度
宮崎県職員採用試験
【大学卒業程度（林業）】**

専 門 論 文 試 験 課 題

<課題>

本県は、スギを中心とする人工林資源の 8 割が収穫期を迎えている中、林内路網の整備や高性能林業機械の導入などの生産基盤の充実、製材工場の大型化・効率化、木質バイオマス発電施設の稼働等に伴う木材需要の高まりにより、伐採面積は高い水準で推移しており、特に採算性の高い森林から伐採が急速に進んでいます。

一方、森林所有者の林業経営意欲の減退や、林業担い手の減少・高齢化、造林・育林作業の労働力不足等により、採算性の高い場所であっても、伐採後の再造林が進まない森林も見られ、毎年、伐採跡地の約 3 割、約 8 0 0 ha が植えられていない状況となっています。

このため、県ではゼロカーボン社会と地域資源を活用した産業成長の実現を目指す「グリーン成長プロジェクト」を立ち上げ、「再造林率日本一」を目標に集中的な取組を行うこととしています。

そこで、目標とする「再造林率日本一」を達成し、持続可能な資源循環型林業を確立するためには、どのような取組が効果的であると考えるか、あなたの考えを述べなさい。